

企業への講師派遣も行っております。



●実績ある「TWIトレーナー」を貴社に派遣いたします

中産連では、TWIトレーナーを派遣して研修を企画することを行っております。

●TWIトレーナー養成コース

「社内講師でTWI研修を実施したいので、トレーナーを養成したい」という要望にも対応いたします。

☎講師派遣に興味のある方はこちらまでお問合せ下さい。

一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 森

TEL052-931-9826

TWI監督者訓練 参加申込書・ご参加要領					
対 象	第一線監督者（リーダー・職長・組長・班長など）				
と ころ	中産連ビル研修室（名古屋市東区白壁3-12-13）				
参加費（1名様）	会 員（1コースにつき）	会 員 外（1コースにつき）			
	49,500円（消費税込）	55,000円（消費税込）			
申込方法	①・下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずにファックスにてお送りください。 ・中産連ホームページの各セミナー詳細からもお申込み可能です。（ https://www.chusanren.or.jp ） 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ②受講票と請求書を開催日の約2～3週間前に申込責任者宛へ郵送します。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。				
キャンセルについて	お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。 開催日の前日（土日祝日を除く）・当日………受講料の100%				
申込み・問合せ先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 森 〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 TEL052-931-9826 FAX0120-342-340 e-mail：seminar@chusanren.or.jp				

年 月 日

会社名

〒

所在地

TEL

FAX

	参加日程 ※ご記入ください。	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名（フリガナ）
JI	☐ 4/21・22 ☐ 9/16・17 ☐ 12/1・2		
JR	☐ 6/5・6 ☐ 10/27・28 ☐ 1/22・23		
JM	☐ 7/ 7・ 8 ☐ 2/12・13		
JS	☐ 3/5・6		
JI	☐ 4/21・22 ☐ 9/16・17 ☐ 12/1・2		
JR	☐ 6/5・6 ☐ 10/27・28 ☐ 1/22・23		
JM	☐ 7/ 7・ 8 ☐ 2/12・13		
JS	☐ 3/5・6		
JI	☐ 4/21・22 ☐ 9/16・17 ☐ 12/1・2		
JR	☐ 6/5・6 ☐ 10/27・28 ☐ 1/22・23		
JM	☐ 7/ 7・ 8 ☐ 2/12・13		
JS	☐ 3/5・6		
申込責任者 所属部課・役職名		申込責任者氏名（フリガナ）	E-mail アドレス
会社概要	業種（主要製品名）	資本金	従業員数
		百万円	人
中部産業連盟会員（○印をお付けください）		会 員	・ 会員外
今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供（郵便、メール、FAX等）においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記に○点のご記入をお願い致します。 ☐ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない			



FAX 0120-342-340

マネジメント研修事業部 森 行

実績豊富なTWIトレーナーが、「定型訓練」を担当します！



TWI監督者訓練

JI

正しい仕事の教え方を身につけるための訓練です。正確に安全に仕事ができるように「教える内容」と「教える方法」を実際の職場の作業を題材に学びます。

JR

職場の人間関係（上司・部下・同僚）の問題を未然に防止する基本心得と、問題が発生した場合に迅速かつ円満に解決する技能を身につける訓練です。

JM

職場のムダ、ムラ、ムリ、ムボウをなくして仕事を効率的に進めていくための技能を身につける訓練で改善活動の基礎となります。

JS

安全に対する意識を高め、不安全作業を無くし、災害を未然に防ぐための改善方法の基本を習得する訓練です。危険予知の考え方やリスクアセスメントについても学びます。

仕事の教え方

人の扱い方

改善の仕方

安全作業のやり方

☒ 受講者が実演（実務の作業を使用）を通して理解を深める実践形式の訓練です。

☒ 中産連では定型の TWI 訓練に加えて PowerPoint で説明を行う、TWI を「実務で活かすためのポイント」も加えて解説するなど、よりわかり易く、実務で使いやすいようにアレンジしております。

こういう企業にお勧めです

☒ 第一線のリーダー・監督者に体系的に基本技能を学んでほしい！

☒ TWI 受講修了証や R S T 職長教育修了証と自社の昇格要件をリンクさせたい！

こういうリーダー・監督者にお勧めです

☒ リーダー・監督者として必要な普遍的なスキル・考え方を身につけておきたい！

☒ 自分自身が部下を抱える監督者だが、社内講師として講義することも求められている！



企業規模の大小問わずいずれの業種にも適用可能です

詳細については当パンフレットの中面をご覧ください



① JIコース（仕事の教え方）

定員12名

日 時

【第1回】

2025年 4月21日(月)～22日(火)

【第2回】

2025年 9月16日(火)～17日(水)

【第3回】

2025年 12月 1日(月)～ 2日(火)

※【1日目】13時～17時30分【2日目】9時30分～17時(昼食1時間)

※年3回開催・11時間コース



※年3回開催・11時間コース

■JI（仕事の教え方）とは
「仕事を教える前の作業分解の仕方」及び「確実に信頼のできる正しい教え方の技能」を学び、実践的な訓練により「部下指導の仕方」の基本を習得します。

カリキュラム

1.監督者に必要な5つの条件 (1)「仕事の教え方」を訓練で習得する (2)不完全な教え方・正しい教え方 (3)「仕事の教え方-4段階-」の確立 (4)部下が覚えていないのは、上司の責任である 2.作業分解の仕方 (1)作業を「教える項目」別に分解し、教える準備をする (2)演習「電気コード結び(演習名)」の作業分解(※) (3)見本作業の分解 3.訓練予定表の作り方 (1)訓練予定表(例示と練習) (2)演習「各自の実業務を用いて、教え方の実演ローブレ」 (3)実演作業の分解練習	4.教え方の実演ローブレと批評① (1)受講者の作った訓練予定表の個人別解説 (2)演習「実業務を細かく作業分解する」 (3)特に工夫を要する教え方 5.教え方の実演ローブレと批評② (1)演習「実演ローブレ作業の分解練習」 (2)「仕事のキーポイント」を徹底理解させる方法 (3)「仕事の急所」を徹底理解させる方法 6.「TWI-JIコース」修了証明証の授与 (※)演習 「電気コード結び」 「電気コード結び」という演習用の軽作業を通して、 「仕事の教え方」の基本を学びます。
--	---



講師の先生が丁寧かつパワフルでとても勉強になった。実践形式のワーク中心で進めていくため、体感的でとてもわかりやすかった。今回学んだスキルを職場でも活かしていきたい。（電気機器製造・主任）



今まで“教えているつもりになっていたというのが本音です。作業者目線になる、自分が教える、自分が模範となる事を徹底する。（鉄加工・班長）

③ JMコース（改善の仕方）

定員12名

日 時	【第1回】 2025年 7月 7日(月)～ 8日(火) 【第2回】 2026年 2月12日(木)～13日(金) ※【1日目】 13時～17時30分 【2日目】 9時30分～17時(昼食1時間) ※年2回開催・11時間コース 
-----	---

※年2回開催・11時間コース

■JM（改善の仕方）とは
毎日の仕事の中で、ムダ・ムラ・ムリを発見し、改善する科学的技法（作業分解し、展開する技法）を習得します。（品質向上・コスト削減・時間短縮・安全確保）

カリキュラム

1.作業改善の進め方 (1)監督者に必要な5つの条件 (2)現在方法と新方法の提示 (3)改善の仕方-作業分解-細目ごとの自問 (4)新方式の展開と実施 (5)改善効果の要約 2.【第1段階】 作業を分解する (1)作業の全細目を記録する (2)改善の実演-作業 (3)提案シートの使用法 3.【第2段階】 細目ごとに自問する (1)5W1Hで再チェックする (2)改善の実演-作業 (3)前回実演者の提案シートの発表	4.【第3段階】 新方法に展開する (1)業務改善の法則 ①取り去る:Eliminate ②結合する:Combine ③順序を変更する:Rearrange ④簡単にする:Simplify (2)作業をもっと楽に、安全に ①適当な動作範囲・最適の位置 ②両手作業 ③治具・取付具 ④重力利用の補給装置など 5.【第4段階】 新方法を実施する (1)新方法を周囲に納得させる (2)仕事の教え方の復習と改善の仕方要約 6.「TWI-JMコース」修了証明証の授与
---	---



普段、自分の会社の中にしかいないので、他の会社の人と達を交流ができたことがとても刺激的だった。ディスカッションを通して、多くの意見を聞くことができた。この研修のおかげで視野が広がったように感じる。（精密機器製造・チームリーダー）



作業者がやりやすくなる改善を常に頭に入れて置きたい。とても分かりやすく、実践的な研修で楽しく学べた。（自動車部品製造・主任）

② JRコース（人の扱い方）

定員12名

日時

【第1回】

2025年 6月 5日(木)～ 6日(金)

【第2回】

2025年 10月27日(月)～28日(火)

【第3回】

2026年 1月22日(木)～23日(金)

※【1日目】13時～17時30分【2日目】9時30分～17時(昼食1時間)

※年3回開催・11時間コース



※年3回開催・11時間コース

■JR（人の扱い方）とは
監督者が上司・同僚・部下との人間関係を円滑にし、職場の問題を未然に予防し、または迅速かつ円満に解決するための技法を習得します。

カリキュラム

1.人との関係をよくするための基本心得 (1)自職場の問題に常に気を配る「問題意識」 (2)監督者は部下を通じて成果を上げる (3)監督者は部下を個人として扱わねばならない (4)4段階法の紹介 「自動車部品製造の組長Y」 2.【第1段階】 事実をつかむ (1)監督者の目的とは何か (2)言い分や気持ちのつかみ方 (3)職場にどんな規則、ならわし(暗黙のルール)があるのか (4)受講者が抱える問題 3.【第2段階】 よく考えて決める (1)古参者(ベテラン)の問題	(2)事実を整理する (3)生産にどうひびいているのか→早合点しない (4)受講者が抱える問題 4.【第3段階】 処置をとる (1)責任を転嫁しない (2)受講者が抱える問題 5.【第4段階】 あとを確かめる (1)その処置は生産に役立ったのか (2)受講者が抱える問題 6.監督者と部下以外の人との関係 7.「TWI-JRコース」修了証明証の授与
--	--



班長になって半年経ったが部下指導について、どうすればいいかわからずに非常に悩んでいた。この研修を受けたおかげで、部下にどう接すればいいか体系的に理解できた。職場を引っ張る現場リーダーになっていきたい。（自動車部品製造・班長）



今後の人の扱い方のポイントが分かり、今までとは違う視点で教育・訓練や問題解決に活かすことができそう。自分の抱える悩みを皆さんと共有でき、有意義だった。（金属加工・品質保証GM）

④ JSコース（安全作業のやり方）+リスクアセスメント教育（RST 職長教育）

定員10名

日 時	2026年3月 5日(木)～ 6日(金)				RSTとは「労働省方式現場監督者安全衛生教育トレーナー」の略です。中産連ではTWI-JSに加えてリスクアセスメント教育を合わせて行うことでRST職長教育の要件も満たす内容となっております。
	※両日ともに9時30分～17時30分(昼食1時間)				
	※年1回開催・14時間コース				

■JS（安全作業のやり方）とは
危険予知演習で安全に対する意識を高め、不安全作業を無くし、災害を未然に防ぐための改善方法（作業分解）の基本を習得します。

カリキュラム

1.安全の基本 (1)安全の基本と監督者の5つの条件 (2)事故防止の必要性と要素 (3)安全な作業のやり方(災害連鎖) (4)職場の安全の考え方 (5)危険予知 2.安全の問題 (1)人と物の問題に関する心得 (2)物の問題 (3)人の問題 (4)災害の原因 3.安全処置 (1)異常時における処置 (2)災害発生時の処置 (3)監督者として行うべき労働災害防止活動	(4)安全活動と組織 (5)監督者がすべき安全処置 4.「4ラウンド法」における事例研究 (1)1ラウンド「現状把握:どんな危険が潜んでいるのか」 (2)2ラウンド「本質追求:これが危険のポイントだ」 (3)3ラウンド「対策樹立:あなたならどうする」 (4)4ラウンド「私たちはこうする」 5.災害の発生原因特定の仕方 6.リスクアセスメントの手順 (1)危険性・有害性の特定 (2)危険性・有害性事のリスクの見積 (3)優先度の設定・リスク低減措置内容の検討 (4)リスクの低減措置の実施 7.「RST職長教育」・「TWI-JSコース」修了証明証の授与
---	--



研修期間も長いので他社の人たちと仲良くなれて、仕事だけでなく色んな話ができて良かったです。「はっきりと、ぬかりなく、根気よく」教えるということについて、理屈だけでなく、実践形式で学ぶことができた。（食品製造・一般）



安全関係で過去に受講した研修とは違う切り口で新鮮に学べた。職長クラスの安全能力向上に導入したい。（鋼材製造・係長）